保存版
令和２年８月

御坊市
洪水・土砂災害ハザードマップ

洪水　土砂災害

逃げ遅れゼロ！

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

- 正確な情報収集と早めの避難を心がけましょう
- 動きやすい服装と隣近所の方に呼びかけ、２人以上での避難を心がけましょう
- 避難所までの経路は、あらかじめ決めておき、安全に避難できるか確認しておきましょう

災害を知る
避難を考える
災害に備える

洪水・土砂災害ハザードマップについて

洪水・土砂災害ハザードマップとは、河川の氾濫による浸水深予測と、がけ崩れや土石流による土砂災害の危険区域を示したものです。ハザードマップに記載している災害への備えや情報をよく読み、いざという時に安全かつ速やかな避難行動をとれるようにしておきましょう。

洪水・土砂災害ハザードマップ　津波ハザードマップ　ため池ハザードマップ　地震ハザードマップ

風水害のリスク

大雨によって発生する災害・被害

内水氾濫
水路や下水道などがあふれて起こる

大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」と言います。

外水氾濫
河川が氾濫する

大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象を「外水氾濫」と言います。

道路の冠水

エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

床下・床上浸水

流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。

家屋の倒壊

河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。

土砂災害

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

急な斜面が突然崩れ落ちる現象

土石流

山から崩れてきた土や岩が、水と一緒になって谷を流れてくる現象

地すべり

傾きの緩い斜面が広い範囲にわたってすべり落ちていく現象

こんな前ぶれにご用心！

- がけからの水がにごる
- がけに亀裂が入る
- 小石が落ちてくる
- がけから音がする

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水がにごる
- がけや斜面から水がふき出す

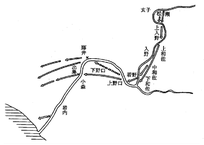
- 山鳴りがする
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる
- 川がにごる
- 流水が流れてくる

御坊市の既往水害

昭和28年7月18日に発生した和歌山水害は、御坊市及び日高川流域に甚大な被害をもたらしました。

この水害により御坊市では、約4,000戸にのぼる床上浸水があり、多くの方が被災しました。

流失寸前の野口橋
瀬戸佐一郎氏撮影・藤田小学校提供



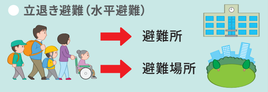
日高川下流における水流の変化とその方向
出典：「御坊市を中心とせるセ・一八水害誌」

適切な避難行動

避難の種類と行動

避難行動には、避難所や避難場所（近隣のより安全な場所・建物等）への「立退き避難」、逃げ遅れたときに、その時点に居る建物内でより安全な部屋等へ移動する「屋内安全確保」があります。

立退き避難（水平避難）



屋内安全確保（垂直避難）

避難の心得

スムーズに避難できるように家族で話し合い、避難経路を事前に把握しておきましょう。

火の元（コンロ、暖房器具、タバコ、線香等）と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

動きやすい服装で、荷物は必要最小限にしましょう。長靴は脱げる危険がありますので運動靴で避難しましょう。

深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

水の流速によっては危険なことがあります。

マンホールや排水溝に気づかず吸い込まれる危険があります。

地域での助け合い

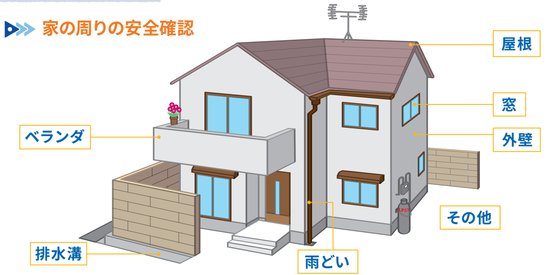
２人以上で避難

隣近所に呼びかけて避難

要支援者の避難

災害への備え

家の周りの安全確認



屋　根
- □アンテナは不安定ではないか
- □トタンがめくれていないか
- □瓦のひび・割れ・はがれがないか

窓
- □窓枠のがたつきはないか
- □雨戸にがたつきはないか

その他
- □商店などでは看板のぐらつきがないか
- □ゴミ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか
- □庭木には添え木をしているか
- □プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定されているか
- □ブロック塀は崩れそうにないか

ベランダ
- □植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものはないか

雨どい
- □雨どいに落ち葉などが詰まっていないか
- □継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはないか

外　壁
- □壁に亀裂はないか

排水溝
- □排水溝にごみや土砂が詰まっていないか

非常持出品や非常備蓄品の準備

非常持出品

食料
- □飲料水
- □非常食（火を通さず食べられるもの）
- □粉ミルク等、哺乳瓶（赤ちゃんがいる場合）

衣類など
- □衣類（厚手のものと薄いもの）
- □下着類
- □タオル
- □手袋、軍手
- □雨具

救急・安全対策用品
- □持病薬
- □常備薬（胃腸薬、風邪薬）
- □傷薬、消毒液
- □包帯、ガーゼ、絆創膏
- □地図（ハザードマップ）
- □歯磨きセット

日用品
- □ポリ袋（ビニール袋）
- □万能ナイフ
- □ティッシュ、濡れティッシュ
- □懐中電灯
- □携帯ラジオ
- □携帯電話
- □電池、充電器
- □筆記用具（油性マジック）
- □使い捨てカイロ
- □簡易食器（割り箸、紙皿）

貴重品
- □現金（小銭）
- □預金通帳、印鑑
- □クレジットカード
- □健康保険証
- □免許証など

- □携帯トイレ
- □紙おむつ
- □生理用品
- □メガネ
- □マスク

非常備蓄品（最低3日、推奨1週間）
- □日頃の買い置き
  保存性のよい食料や水を買い置きし、消費したら買い足す（ローリングストック法）
- □3日分以上の食料
  缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
- □飲料水
  大人1人当たり1日 2～3リットル
- □カセットコンロ・ガスボンベなど
- □缶切り
- □ラップ

ローリングストック法

賞味期限切れになってしまう前に消費する、経済的な方法です。

避難行動判定フロー　必ず取り組みましょう

ハザードマップ※1（裏面）で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

↓

家がある場所に色が塗られていますか？
- いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、市町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。
- はい ↓

災害の危険があるので、原則として※2、自宅の外に避難が必要です。
- 例外 → ※2 浸水の危険があっても、以下の全てをみたす場合は、自宅に留まり安全確保することも可能です。
  ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
  ②浸水する深さよりも高いところにいる
  ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの蓄えが十分にある

↓

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？
- いいえ → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
  - はい → 警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）
  - いいえ → 警戒レベル4が出たら、市町村が指定する指定緊急避難場所に避難しましょう。
- はい ↓

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
- はい → 警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）
- いいえ → 警戒レベル4が出たら、市町村が指定する指定緊急避難場所に避難しましょう。

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

防災訓練に参加しましょう

災害はいつ発生するかわかりません。災害に備えるためには、地域での助け合い「共助」を強化する必要があります。「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念のもと、防災訓練など、地域の防災活動に積極的に取り組みましょう。

わが家の防災メモ

わが家の避難所

わが家の連絡先

家族の名前	会社・学校の連絡先	携帯電話	メールアドレス	血液型
				型
				型
				型
				型
				型
				型

いざという時の連絡先

機　関　名	電話番号	機　関　名	電話番号
御坊市役所	0738-22-4111		
御坊市消防本部	0738-22-0800		
御坊警察署	0738-23-0110		
御坊保健所	0738-22-3481		
関西電力送配電株式会社	0800-777-3081		

安否確認方法

災害用伝言ダイヤル（171）　災害用伝言ダイヤル(171)は、災害時にNTTより提供される「声の伝言板」です。

使用方法を知っておきましょう。（※サービス開始は、テレビ・ラジオなどで通知されます）

伝言の録音　171 ▸ 1 ▸ 被災した家の電話番号 ▸ 伝言を入れる（30秒以内）

ガイダンス（説明）が流れます。
被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。

伝言の再生　171 ▸ 2 ▸ 被災した家の電話番号 ▸ 伝言を聞く

ガイダンス（説明）が流れます。
被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。

※携帯電話でも「災害用伝言板」が利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう。　※毎月1日、15日に体験利用ができます。1度体験してみましょう。

災害用伝言板（web171）　災害用伝言板(web171)は、インターネットでできる災害用伝言板です。

自分の安否情報を登録することができ、インターネットなどを通じて、登録された安否情報を家族や友人などが確認できる災害時専用のサービスです。

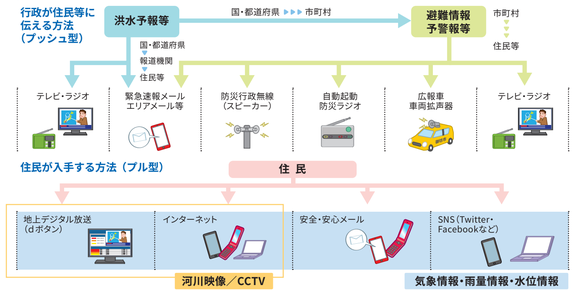
また、あらかじめ指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせすることも可能です。

災害用伝言板(web171)
https://www.web171.jp

お問い合わせ先　御坊市役所　都市建設課　防災対策課
〒644-8686　御坊市薗350番地
TEL 0738-22-4111（代表）

大雨時にとるべき行動

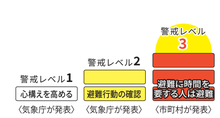
避難情報の伝達方法



警戒レベル

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために５段階にレベル分けしたもので、市町村が避難情報と合わせて出す情報です。

□**避難**とは**難**を避けること、つまり**安全を確保すること**です。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。
□危険な場所からは**警戒レベル３まで（高齢者などは避難）**、**警戒レベル４まで（全員避難）**しましょう。



警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等
5	命を守る最善の行動	災害発生情報
4	危険な場所から全員避難	避難勧告（避難指示（緊急））
3	危険な場所から高齢者などは避難	避難準備・高齢者等避難開始
2	ハザードマップ等で避難方法を確認	大雨注意報　洪水注意報
1	最新情報に注意	早期注意情報

□**警戒レベル５**はすでに**災害が発生**している状況です。
□警戒レベル４には避難勧告や避難指示（緊急）がありますが、いずれにしても警戒レベル４で避難しましょう。

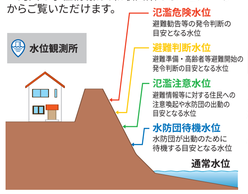
危険を早めに知るための情報

メール（携帯電話／スマートフォンなど）

- 防災わかやまメール配信サービス
  regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp に空メールを送信
- 緊急速報メール（エリアメールなど）　登録不要
  市内に滞在する人の携帯電話に強制的に情報が配信されます。

河川水位情報

河川の水位情報は、和歌山県のホームページからご覧いただけます。

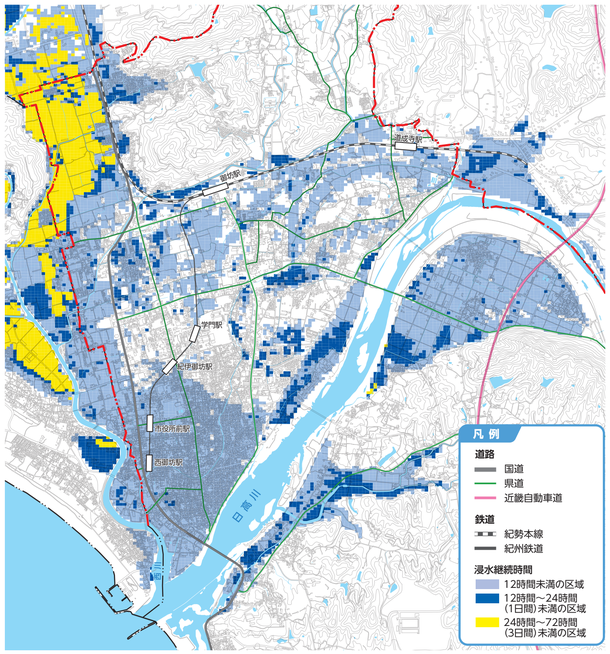


テレビやラジオ

リモコンの「dボタン」（データ放送）を押すと、テレビ画面で情報を確認できます。

インターネット（パソコン、携帯電話／スマートフォン）
- 和歌山地方気象台
  http://www.jma-net.go.jp/wakayama/
- 防災わかやま
  http://bousai-portal.pref.wakayama.lg.jp/
- 国土交通省 防災情報提供センター
  http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
- 御坊市ホームページ
  http://www.city.gobo.wakayama.jp/

浸水継続時間



浸水継続時間とは？

氾濫水到達後、浸水深が0.5m（一定の浸水深）に達してから0.5mを下回るまでの時間を示しています。（氾濫水が到達するまでの時間を示したものではありません。）

浸水継続時間が長い区域では、立退き避難を行わなかった場合、長時間の浸水により生活の再開等に支障が出るおそれがあります。

浸水継続時間が長いおそれのある地域にお住まいの方は、事前に避難を行うようにしましょう。

万が一、逃げ遅れた場合、孤立した場合を想定し、非常備蓄品の準備を行いましょう。